

事務の棚卸しの評価状況について

1 一次評価

各課において事務を洗い出しセルフチェックを実施

(1) 調査期間

平成 30 年 5 月 17 日(照会)～平成 30 年 6 月 22 日(提出期限)

(2) 回答状況

対象課 56 課 (53 課・3 支所)

事務数 5,069 事務

ア 自己評価 (問題がある) 46 事務

評価指標	評価内容	事務数
妥当性	①市が実施することが適切であるか (委託・民営化(NPO、地域団体との協働を含む)によって効率化できないか)	15
	②ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3
	③課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	10
有効性	①事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	9
	②事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	9
	③事務の成果が上位施策の目的達成に貢献しているか	11
効率性	①事務の目標に対して費用がかかりすぎていないか	8
	②事務時間は適切なものになっているか	12
	③事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	14

イ 自己評価 (方向性)

評価内容	事務数
今後も、ほぼ現行どおり進める	4,800
今後は、内容を見直して事業を拡大する	56
今後は、内容を見直して事業を縮小又は統合する	101
今後は民間委託化や民間委託の拡充、民営化する	72
今後は事業を廃止する	40

2 二次評価

(1) 調査対象事務

回答状況において自己評価（方向性）が「今後は、内容を見直して事業を縮小又は統合する」又は「今後は事業を廃止する」事務及び自己評価（問題がある）に該当する 130 事務について、事務事業評価に準じた調査を実施

※法律等で変更の余地のない事務及び国庫補助等がある事務を除く

評価内容	件数 A	国庫等 B	調査対象 A-B
今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する	101	19	82
今後は事業を廃止する	40	8	32
評価項目に「問題がある」がある事務（上記評価を除く）	21	5	16

(2) 二次評価の調査

事務事業評価を参考に、担当課が事務評価シートを作成

ア 調査期間 8月29日～9月7日 130 事務

イ ヒアリング 10月25日～10月26日 11 課

ウ 職員意見募集 9月27日～10月12日 15 意見

※イ・ウは、二次評価対象の 130 事務の内、自己評価に「問題がある」とされた事務が対象

3 財政課へ情報提供

一次評価において事務の方向性が「今後は事業を廃止する」40 事務と「今後は、内容を見直して事業を縮小又は統合する」101 事務について、財政課へ情報提供

4 二次評価結果の公表

二次評価の対象となった事務について事務評価シートを市ホームページに公表

評価内容	担当課判断	企画政策課判断
今後も、ほぼ現行どおり進める	14	14
今後は、内容を見直して事業を拡大する	2	2
今後は、内容を見直して事業を縮小又は統合する	82	75
今後は事業を廃止する	32	39